

平成31（令和元）年度

決算書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

公益財団法人人工知能研究振興財団

目次

・貸借対照表	-----	1
・正味財産増減計算書	-----	2
・正味財産増減計算書内訳表	-----	3
・財務諸表に対する注記	-----	4
・附属明細書	-----	5
・財産目録	-----	6
・監査報告	-----	7

貸借対照表
令和 2年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,797,286	6,322,074	△ 1,524,788
前払金	256,300	0	256,300
流動資産合計	5,053,586	6,322,074	△ 1,268,488
2. 固定資産			
(1)基本財産			
現金預金	13,375,286	375,279	13,000,007
投資有価証券	822,790,300	830,241,100	△ 7,450,800
基本財産合計	836,165,586	830,616,379	5,549,207
(2)特定資産			
投資有価証券	45,454,164	45,850,967	△ 396,803
特定資産合計	45,454,164	45,850,967	△ 396,803
(3)その他固定資産			
電話加入権	144,000	144,000	0
敷金	1,409,616	1,409,616	0
その他固定資産合計	1,553,616	1,553,616	0
固定資産合計	883,173,366	878,020,962	5,152,404
資産合計	888,226,952	884,343,036	3,883,916
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,633,341	586,234	1,047,107
未払法人税等	25,000	23,700	1,300
預り金	107,306	290,488	△ 183,182
仮受金	0	12,586	△ 12,586
流動負債合計	1,765,647	913,008	852,639
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	0	583,333	△ 583,333
固定負債合計	0	583,333	△ 583,333
負債合計	1,765,647	1,496,341	269,306
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	886,461,305	882,846,695	3,614,610
正味財産合計	886,461,305	882,846,695	3,614,610
負債及び正味財産合計	888,226,952	884,343,036	3,883,916

正味財産増減計算書

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	11,899,090	9,463,874	2,435,216
特定資産運用益			
特定資産受取利息	208,400	1,108,400	△ 900,000
受取会費			
賛助会員受取会費	1,620,000	1,690,000	△ 70,000
事業収益			
委託費収益	340,633	342,910	△ 2,277
雑収益			
受取利息	108	709	△ 601
経常収益計	14,068,231	12,605,893	1,462,338
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	2,749,840	1,333,232	1,416,608
役員報酬	960,000	3,840,000	△ 2,880,000
退職給付費用	20,000	226,666	△ 206,666
福利厚生費	233,838	225,730	8,108
旅費交通費	9,000	22,650	△ 13,650
通信運搬費	93,000	112,774	△ 19,774
会議費	508,409	399,360	109,049
印刷製本費	315,954	309,338	6,616
諸謝金	984,040	1,198,358	△ 214,318
研究助成金	5,000,000	5,000,000	0
事業費計	10,874,081	12,668,108	△ 1,794,027
管理費			
役員報酬	240,000	960,000	△ 720,000
給料手当	687,460	333,308	354,152
退職給付費用	5,000	56,667	△ 51,667
福利厚生費	58,460	56,432	2,028
会議費	19,542	9,180	10,362
旅費交通費	139,430	65,320	74,110
通信運搬費	602,708	596,240	6,468
消耗品費	471,290	57,382	413,908
印刷製本費	59,430	0	59,430
光熱水料費	98,723	89,595	9,128
賃借料	1,283,824	1,270,104	13,720
雑費	1,241,070	1,626,757	△ 385,687
管理費計	4,906,937	5,120,985	△ 214,048
経常費用計	15,781,018	17,789,093	△ 2,008,075
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,712,787	△ 5,183,200	3,470,413
基本財産評価損益等	5,749,200	29,190,900	△ 23,441,700
特定資産評価損益等	△ 396,803	1,314,504	△ 1,711,307
評価損益等計	5,352,397	30,505,404	△ 25,153,007
当期経常増減額	3,639,610	25,322,204	△ 21,682,594
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,639,610	25,322,204	△ 21,682,594
法人税、住民税及び事業税	25,000	23,700	1,300
当期一般正味財産増減額	3,614,610	25,298,504	△ 21,683,894
一般正味財産期首残高	882,846,695	857,548,191	25,298,504
一般正味財産期末残高	886,461,305	882,846,695	3,614,610
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	886,461,305	882,846,695	3,614,610

正味財産増減計算書内訳表

平成 31年 4月 1日 から令和 2年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	6,544,500	5,354,590	0	11,899,090
特定資産運用益				
特定資産受取利息	208,400	0	0	208,400
受取会費				
賛助会員受取会費	1,620,000	0	0	1,620,000
事業収益				
委託費収益	0	340,633	0	340,633
雑収益				
受取利息	0	108	0	108
経常収益計	8,372,900	5,695,331	0	14,068,231
(2) 経常費用				
事業費				
給料手当	2,749,840	0	0	2,749,840
役員報酬	960,000	0	0	960,000
退職給付費用	20,000	0	0	20,000
福利厚生費	233,838	0	0	233,838
旅費交通費	9,000	0	0	9,000
通信運搬費	93,000	0	0	93,000
会議費	508,409	0	0	508,409
印刷製本費	315,954	0	0	315,954
諸謝金	984,040	0	0	984,040
研究助成金	5,000,000	0	0	5,000,000
事業費計	10,874,081	0	0	10,874,081
管理費				
役員報酬	0	240,000	0	240,000
給料手当	0	687,460	0	687,460
退職給付費用	0	5,000	0	5,000
福利厚生費	0	58,460	0	58,460
会議費	0	19,542	0	19,542
旅費交通費	0	139,430	0	139,430
通信運搬費	0	602,708	0	602,708
消耗品費	0	471,290	0	471,290
印刷製本費	0	59,430	0	59,430
光熱水料費	0	98,723	0	98,723
賃借料	0	1,283,824	0	1,283,824
雑費	0	1,241,070	0	1,241,070
管理費計	0	4,906,937	0	4,906,937
経常費用計	10,874,081	4,906,937	0	15,781,018
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,501,181	788,394	0	△ 1,712,787
基本財産評価損益等	5,749,200	0	0	5,749,200
特定資産評価損益等	△ 396,803	0	0	△ 396,803
評価損益等計	5,352,397	0	0	5,352,397
当期経常増減額	2,851,216	788,394	0	3,639,610
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,851,216	788,394	0	3,639,610
税引前当期一般正味財産増減額	2,851,216	788,394	0	3,639,610
法人税、住民税及び事業税	0	25,000	0	25,000
当期一般正味財産増減額	2,851,216	763,394	0	3,614,610
一般正味財産期首残高				882,846,695
一般正味財産期末残高				886,461,305
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				886,461,305

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続組織の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

ア) 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当事項なし。

(4) 引当金の計上基準

役員退職慰労引当金…役員の退職給付に備えて、当期末における退職給付債務に基づき発生していると認められる額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理

税込処理によっている。

(6) 会計基準

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)

内閣府公益認定等委員会)を採用している。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現金預金	375,279	13,000,007		13,375,286
投資有価証券	830,241,100	101,096,900	108,547,700	822,790,300
小計	830,616,379	114,096,907	108,547,700	836,165,586
特定資産				
投資有価証券	45,850,967		396,803	45,454,164
小計	45,850,967	0	396,803	45,454,164
合計	876,467,346	114,096,907	108,944,503	881,619,750

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
現金預金	13,375,286	0	13,375,286	0
投資有価証券	822,790,300	0	822,790,300	0
小計	836,165,586	0	836,165,586	0
特定資産				
投資有価証券	45,454,164	0	45,454,164	0
小計	45,454,164	0	45,454,164	0
合計	881,619,750	0	881,619,750	0

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当事項なし。
6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当事項なし。
7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項なし。
8. 金融商品の状況
 (イ) 金融商品に対する取組方針
 当法人は、法人運営の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、デリバティブを組み込んだ債券（仕組債）により資産運用する。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。
 (ロ) 金融商品の内容及びそのリスク
 金融商品は、債券、デリバティブを組み込んだ債券（仕組債）であり、発行体の信用リスクにさらされている。なお、中途解約が著しく制約されていることにより、満期到来までに資金化することが極めて困難な流動性に乏しい債券（仕組債）が含まれている。
 (ハ) 金融商品のリスクに係る管理体制
 ①資産運用規程に基づく取引
 金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。
 ②信用リスクの管理
 債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。
9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当事項なし。
10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項なし。
11. 関連当事者との取引の内容
該当事項なし。
12. 重要な後発事象
該当事項なし。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記「3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	583,333	0	583,333	0	0

財 産 目 録
令和 2年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	普通預金	三菱UFJ銀行大津町支店 三菱UFJ銀行大津町支店 名古屋銀行本店 中京銀行本店 愛知銀行本店	} 運転資金	2,771,770 1 391,785 780,591 853,139
	前払金	東邦不動産		貸室料
流動資産合計				5,053,586
(固定資産)	基本財産			
	普通預金 定期預金	三菱UFJ銀行大津町支店 名古屋銀行本店	} 55%は公益目的保有財産であり、 45%は管理事業の用に供している	6,248 369,038
投資有価証券	三菱UFJ銀行大津町支店	13,000,000		
	ゴールドマンサックス・インターナショナル (SMBC)	93,620,000		
	214回政府保証債 (みずほ)	115,980,000		
	スウェーデン地方金融公社 (岡三)	111,592,500		
	カイリミテッドシリーズ (野村)	94,040,000		
特定資産	158回利付国債 (20年)	103,380,000		
	51回利付国債 (30年)	195,022,400		
	JPMorganストラクチャード (岡三)	109,155,400		
	13回なごやか市民債 (野村)	6,997,382		
	156回利付国債 (20年)	11,193,182		
その他固定資産	159回利付国債 (20年)	3,145,800		
	159回利付国債 (20年)	12,583,200		
	159回利付国債 (20年)	11,534,600		
	電話加入権 敷金	中産連ビル敷金	} 公益目的保有財産である。 管理事業の用に供している "	144,000 1,409,616
固定資産合計				883,173,366
資産合計				888,226,952
(流動負債)	未払金	翌期支払分		1,633,341
	未払法人税等			25,000
	預り金	源泉所得税等		107,306
流動負債合計				1,765,647
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				1,765,647
正味財産				886,461,305

監 査 報 告

公益財団法人人工知能研究振興財団

理事長 内藤 弘康 殿

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行、事業報告及び計算書類の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要


- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。


2 監査意見

- (1) 計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録）は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

令和2年5月15日

公益財団法人人工知能研究振興財団

監 事 深 町 正 和 

監 事 小 出 真 希 

監 事 南 出 攻 雄 